

【日本史探究】

～ClassPad.net の EX-word 機能・同時編集機能・送受信機能を活用する～

グループで史料を読解し、歴史研究の基礎を体験する探究授業
史料を読解して史料に関する人物を推測するというアクティビティを通じて、
史料への抵抗感を払拭するとともに、基礎的な歴史研究の形式を体験する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：生徒の史料への抵抗感を和らげるとともに、大学での学びや歴史研究に通じる、
基礎的な歴史研究の方法を体験させる。

生徒向けの目標：史料を読み解く経験を積むとともに、歴史研究の基礎的な形式を知る。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **授業準備の時短／効率化**：史料の配布や生徒同士の共有、回収にかかる時間が大幅に短縮できる。
- ・ **生徒の集中力アップ**：EX-word 機能によって各種辞書を横断的に調べることができ、作業スペースや検索時間の面での効率化が図れるため、集中が持続する。
- ・ **協働学習の促進**：EX-word 機能での検索やファイルへの書き込み、ノート共有が容易であり、必要な情報の取得・整理がスムーズに行える。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【本日の授業】

歴史研究の基礎：史料読解
—2つの史料に記された内容・関係する人物を読み解く—

・ある人物が行った政策に関する2つの史料を、グループごとに読み解く。
・2つの史料からわかる政策の内容と、それらの政策を行った人物をグループで推察する。

概要の説明

6人グループに分かれ、ある人物が行った政策に関する二つの史料（**対米開放令と上げ米の制＝徳川吉宗が行った政策を示す史料**）をそれぞれのグループで読解してもらい、史料内容と政策を実施した人物を各グループで推定してもらおうという概要を説明。

step2



グループ分けとルール説明

席順などでこちらがグループを指定する。その後、二つの資料を各グループに共有して読解を進めさせる。

- ・二つの史料は各3人ずつに分かれて読解を進める
- ・提出用のファイルふせんに情報を整理
- ・語句などを EX-word 機能を用いて調べてよい
- ・可能な限り史料を現代語要約する
- ・時間が来たら課題を提出して作業を終了し、史料の内容と政策を行った人物の推定を各グループが発表する

といったルールを説明する。

全員に課題として二つの史料と、事前に情報整理および提出用として Word や Excel で作成したワークシートをファイルふせんに貼り付けて、送受信機能で共有する。

ルールはテキストふせんに記載して全員に送信後、電子黒板やプロジェクターでも提示しておき、常に確認できるようにしておく。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step3

グループワーク開始

～〇時〇分まで

- デジタルノートの**同時編集機能**を活用すること！
- 作業に行き詰まった場合は、先生に質問してもOK！

【出題】アベノ経済

「安倍内閣の政策」に関する資料を提示し、グループで議論を進める。

グループワークの開始

史料の読解をさせる。見回りをを行い、適宜、分担や情報の検索・共有の補助、ヒントの提示などを行う。時間内にすべてのグループがおおよその読解・推定ができるよう十分に配慮する。

課題に取り組む際には、デジタルノートの同時編集機能を活用するよう促す。作業が詰まっているグループには、事前に用意しておいたヒントとなる資料（難解な語句の説明など）を、テキストふせんやファイルふせんなどで共有する。

step4

発表！

- 他のグループの発表中には、<参考になった現代語訳、概要やその歴史>なども、**テキストふせんにメモ**しておくこと！
- 特によくなったワークシートは、クラス全体で共有します！

結果発表・意見交換

各グループから提出用のファイルふせんにを回収する。それらを順に電子黒板やプロジェクターで写し、各グループに史料内容および史料の政策を行った人物の推定とその根拠について説明させ、グループ同士で意見交換などを行う。

各グループから課題提出用のファイルふせんを送受信機能で回収する。グループ発表中には、各グループの出した答えや意見・考えなどをテキストふせんに随時入力させ、デジタルノートの活用を促す。提出されたものの中で特に優れたファイルふせんは、クラス全体に送受信機能で共有する。

step5

上げ米の制

【史料が示す政策・人物】

◎解答

- <史料1>：**相对济まし令**
- <史料2>：**上げ米の制**

→これらの政策を行った人物は、**徳川吉宗**

◎ポイント

- <史料1>：吉宗は、幕府の負担軽減のため、法・制度の整備に努めた。相对济まし令はその代表例。
- <史料2>：享保の改革における財政政策の代表例。吉宗は、幕府の権力強化をはかった。

まとめ

模範解答となる現代語訳の史料の提示し、行った人物が徳川吉宗であることを発表する。相对济まし令に代表されるような法・制度の整備や、上げ米の制に代表されるような財政の健全化を図ったことが特徴であるなどの説明を添える。また、このように一つ一つの文献を読み解いて事実を明らかにするのが、研究者が行っている基礎的な歴史研究であり、事実を推定するためには原典を確認することが重要であることなどを説明する。

テキストふせんやEX-word ふせんなどを用いて、史料の現代語訳と徳川吉宗の二つの政策の概要について説明する。説明時には手描き機能などで随時補足を加える。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能をご利用いただけます。

step6

【参考になる動画】

本日の授業で歴史研究に関心を持った生徒は、この動画をぜひ視聴してみよう。

特に興味が強かった生徒でも、将来の目標などを持っていない場合、参考になる考え方が提示されているよ！

参考・補足

歴史研究に関心を示す生徒向けに、参考になりそうな動画を紹介する。

YouTube 動画「歴史学を始める前に知っておきたい事」
(<https://www.youtube.com/watch?v=DekEphmd5kg>) の URL を貼り付けたリンクふせんを、希望する生徒に送受信機能で共有する。長い動画では無いので、全員に共有してもよい。